

25 老朽下水道管対策事業の推進について

本市の下水道は昭和27年から整備を進めており、今後、急激に老朽下水道管が増加する傾向にあることから、老朽下水道管に起因する事故を未然に防止するために、計画的で効率的な改築を進めていく必要があります。

つきましては、今後、急激に増加する老朽下水道管の改築には多額の経費と期間を要することから、**老朽下水道管の対策事業が計画的、かつ、継続的に進められるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

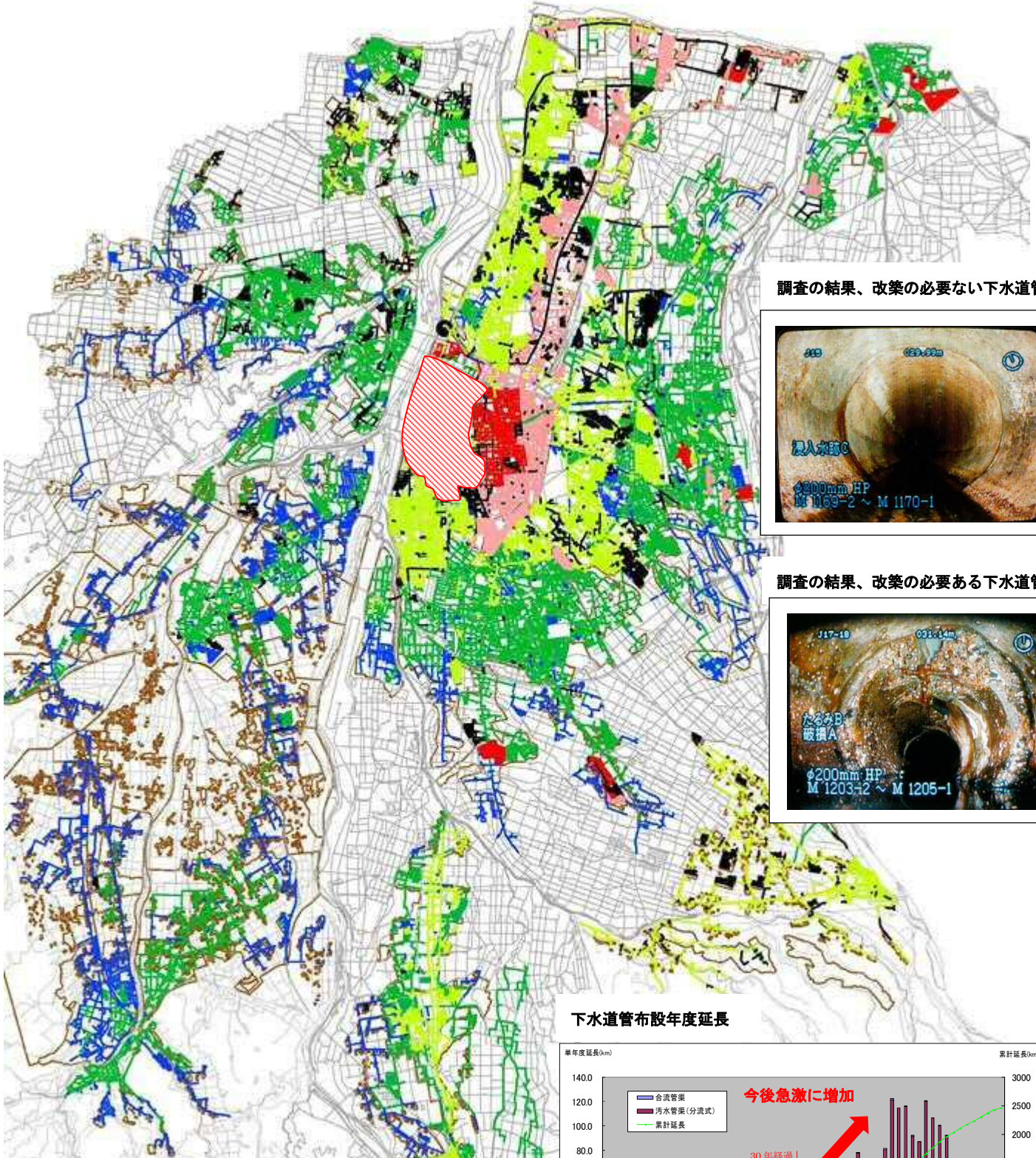
1 事業年度	平成22年度～平成31年度 (うち工事期間 平成24年度～平成31年度)
2 総事業費	約 9,750百万円
3 事業概要	調査・点検 約250km (30年を経過した分流式下水道管) 改築工事 約62.5km (調査の結果、劣化の著しい下水道管)
4 平成30年度事業費	改築工事 約 5km 1,862百万円 (財源内訳) 国庫支出金 931百万円 企業債 838百万円 自主財源 93百万円

平成32年度からの次期老朽下水道管対策工事のための調査・点検

平成30年度以降の調査・点検等については、平成32年度からの次期の老朽下水道管対策工事分として、経過年数、劣化の状況、災害による影響度等を総合的に判断し、緊急度の高いものを対象に実施予定である。なお、費用は、上記事業費に含まれない。

調査・点検等	約50km	150百万円
(財源内訳)	国庫支出金	75百万円
	自主財源	75百万円

老朽下水道管対策事業位置図



調査の結果、改築の必要ない下水道管



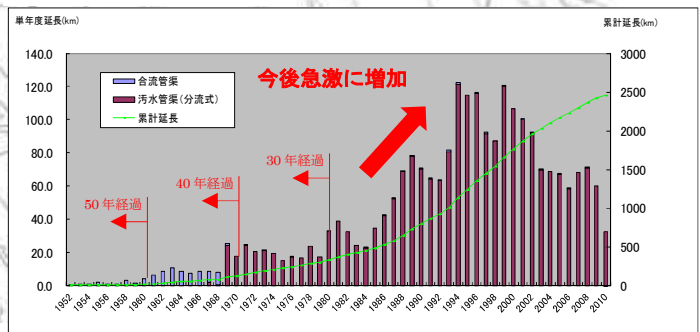
調査の結果、改築の必要ある下水道管



凡例	
	40年経過～
	39～30年経過
	29～20年経過
	19～10年経過
	～9年経過
	合流式下水道区域

老朽下水道管の調査・点検・改築

下水道管布設年度延長



H22末時点	～50年	49年～40年	39年～30年	30年以上計	29年～20年	19年～10年	9年～	単位:km	合計
合流管渠	14.6	64.8	0.5	79.9	1.9	4.0	1.4		87.2
汚水管渠(分流式)	0.0	43.9	207.2	251.1	464.0	965.8	687.2		2,368.1
富山市合計	14.6	108.7	207.7	331.0	465.9	969.8	688.6		2,455.3
累計延長	14.6	123.3	331.0		796.9	1,766.7	2,455.3		-
累計割合	0.6%	5.0%	13.5%		32.5%	72.0%	100.0%		-